

活動継続に向けた多面的機能支払の課題と対応方針（案）

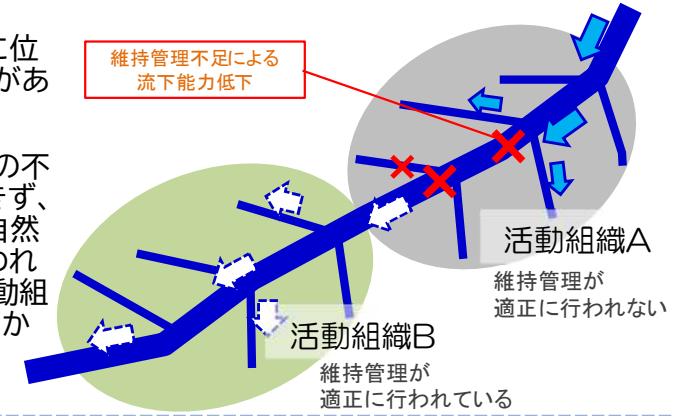
1 現状課題

農村部、とりわけ中山間地域では、人口減少、高齢化が進む中で、（課題①）活動参加者の不足、（課題②）役員交代人材の不在、（課題③）非農家の理解不足といった課題のほか、（課題④）事務の煩雑さが、活動継続の障壁となっている。

こうした地域では、これまでの農業者と農業者以外が地域の共同活動等により支えてきた農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に支障が生じ、さらに近隣の地域へも影響を及ぼすことが懸念される。

一事例として…
用水路系統が上下流に位置する活動組織AとBがある場合。

活動組織Aが、参加者の不足等で活動を継続できず、水路の維持管理等の自然保護活動が適正に行われなくなると、下流の活動組織Bに用水が十分に届かない状況が生じる。



2 課題への対応方針（案）

①活動参加者の不足

活動参加者の確保

地域内の若手へ活動参加を促す

- ・若い世代に事務局を交代し、同年代の参加を促す

外部からの人材確保

- ・農村ボランティア、サポーター制度、アルバイトの活用等

複数組織における活動の連携

- ・水路上下流の活動組織の合同江ざらいや草刈り、鳥獣対策等

活動を断念する組織が出ないように、まずは緩やかな連携

活動の活性化

複数組織の合同活動による効果的な取組実施

- ・近隣の活動組織で連携して市の花を植栽し、大規模な美しい景観を形成→観光資源化
- ・隣接する活動組織合同の獣害防止電気柵の設置→被害の抑制
- ・自走式草刈機等の大型（高額）機械の共同リースや外部人材の活用→参加者の労務負担軽減
- ・近隣の活動組織で連携して田んぼダムに取り組み→洪水防止効果の増進

③非農家の理解不足

活動参加者に向けたPRの充実

多面的機能や共同活動の恩恵をPR

- ・子供達や高齢者を意識したPR
- ・植栽活動や清掃活動による地域の景観保持
- ・ホテルの生息地となる水路の維持管理等の自然保護活動
- ・転落防止網等の設置による水路の安全性の向上

④事務の煩雑さ

誰でも対応可能

事務支援システム導入・普及

事務負担軽減

土地改良区や民間企業等への事務の外部委託

活動の継続と発展

隣接活動組織の包含

- ・役員交代人材の不在により継続困難な活動組織Cを、近隣組織Dが取り込む
活動組織C：継続活動が可能に
活動組織D：交付金増により発展的で計画的な活動が可能に
- ・事務局の合同センター化や会計職員の外部雇用の導入
→事務負担の軽減、組織力の強化の推進

人口減少時代の中で、農業の持続的発展と農村コミュニティ機能の維持・継続の実施